

ありがとう、さようなら

金足東幼児園

四十三年間、地域の子どもたちの
保育を担ってきた金足東幼児園。
園児数の減少などにより、今春、
その長い歴史の幕を閉じます。



現在の園児は5人。とても元気な5人です

地域の熱い思いで開設

金足東幼児園が開設されたのは昭和三十九年。それまで金足東地区には保育所や幼稚園はなく、地域のみなさんは、幼児教育と保育の場の必要性を強く感じていました。その熱意が実を結び、金足東小学校の空き教室を利用し、三十四人の園児で幼児園の歴史が始まりました。

当初は、地元の運営委員会が運営する簡易保育所でしたが、昭和四十九年には、公設の「秋田市へき地保育所」（運営は運営委員会に委託）となりました。「へき地保育所」は、山間地な



五百五十五人の子どもたちが巣立っていきました

どの、諸条件に恵まれない地域の子どもたちの保育を行う施設です。現在、市内のへき地保育所（幼児園）は、太平、山谷、金足西、金足東、上新城の五つ。へき地保育所には、国から交付金が支給されていますが、支給対象となる園児数がおおむね十人。平成十五年には、下浜八田幼児園が園児数の減少などにより閉園しています。なお、上北手地区にも幼児園がありました。昨年四月、住宅地の開発などで園児数が増えたことにより、認可保育所になっています。



いっぱい、いっぱい
あそんだね。
ありがとう！
(みうちのいちゃん)



ようじえん、
さようなら〜
(みうらあゆむくん)



いっぱいあそんで
たのしかった
(みうらさやちゃん)



ようじえん、
たのしかったよ
(すずきゆうやくん)



ありがとう！
ちよっとさみしいな
(いとうのんちゃん)



給食の時間がいちばん大好き！



先生たちのこと、忘れないよ



金足東小学校のお兄さん、お姉さんたちと



絵本を読んでくれたよ(金足東小との交流会で)

園目標は

「じょうぶで元気な子」

現在の園舎は、小学校の改築に合わせ、昭和五十九年に建てられたもの。園舎建設にあたっては、地域のかたがたの多大な支援もありました。日当たりの良い、明るい園舎からは、園児たちの楽しく遊ぶ声がいつも響いてきました。

幼児園のまわりには、自然もたくさん。裏山を採検したり、花を摘んだり、幼児園での毎日は、元氣いっぱいの日々でした。園児たちが元氣な理由はもうひとつ。長い間続けてきた、金足東小学校との交流です。二月二十六日に行われた最後の交流会では、紙芝居やゲームで楽しい時間を過ごしました。小さな子どもに対する児童たちの思いやりが、園児たちをいつそう元氣にしてくれました。

五人の園児たちは、春から小学校、幼稚園に通います。幼児園で過ごした毎日、遠足、運動会、地域の人々との交流。園児たちの小さな胸に刻まれたたくさんの思い出の灯は、ずっと消えないまま灯り続けることでしょう。

幼稚園
ありがとう！



金足東幼児園園長
櫻田侑宏さん

家庭的な雰囲気、密度の濃いふれあいは、恵まれた自然環境とともに、園児たちの心をやさしく、たくましく育ててくれました。閉園はとも残念です。これまで、幼児園をあたたく見守ってくれた地域のかたがたに感謝しています。



応援してるよ！

主任保育士
比企優子さん(右)
保育士
佐藤友美さん

幼児園の子どもたちは、みんな個性豊かで、いつも元氣いっぱいでした。これからも、いろんなところで自分を発揮してくれることでしょう。幼児園がこの場所にあったことを、いつまでも覚えていてほしいと思います。子どもたち、がんばってね！先生たちも応援しています。